

2024年11月

グラフで見る和歌山県経済指標

和歌山県経済は、個人消費・企業活動ともに弱さが見られる

内閣府の月例経済報告（2024年11月26日公表）において、「景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している」との判断が維持された。個別項目では、「公共投資」において判断が引き下げられた。

以下では、「全国の情勢」、「和歌山県の情勢」を主要経済指標（主に10月の値）に基づき報告する。

全国の情勢

- ① 需要動向に関して、「個人消費」、「設備投資」、「住宅建設」の判断は維持された。「公共投資」については、春先から夏にかけて増加していた公共工事の反動減を受けて判断を引き下げた。
- ② 企業活動に関して、「生産」「企業収益」「業況判断」「倒産件数」のいずれについても判断が維持された。
- ③ 雇用情勢に関しては、「改善の動きがみられる」との判断が維持された。
- ④ 物価に関しては、政府による「酷暑乗り切り緊急支援」もあり、エネルギー価格の伸び率が鈍化する一方で、コメ、菓子類、飲料類など食料品価格が上昇している。このことを受けて、「国内企業物価」については、「このところ緩やかに上昇している」、「消費者物価」については、「このところ上昇している」との表現に変更となった。
- ⑤ 世界経済に関しては、「一部の地域において足踏みがみられるものの、持ち直している」との判断が維持された。地域・国別に関しても判断に変更はなかった。

和歌山県の情勢

① 個人消費面では、百貨店・スーパー販売額（10月）は、前年同月比1.8%減となり、2か月連続で前年を下回った。近鉄百貨店和歌山店の販売額（10月）についても、前年同月比6.7%減となっており、4か月連続で前年を下回っている。例年に比べて気温の高い日が続き、秋冬向けの衣料品・食料品販売が低迷したものと考えられる。

新車販売台数（軽自動車[乗用]含む、10月）は、前年同月比0.9%減となり、2か月ぶりに前年を下回った。大手自動車メーカーによる認証試験不正問題による出荷・生産停止の影響は登録車で緩和しているが、軽自動車（乗用）については、販売台数が前年同月比7.0%減となっている。

新設住宅着工戸数（10月）は、前年同月比39.7%減となり、4か月連続で前年を下回った。3月～6月にかけては増勢傾向が見られた着工戸数だが、再び大幅な減少傾向に転じている。市別では、橋本市や紀の川市で大幅な減少となる一方で、和歌山市についてはほぼ前年並みの水準で推移している。

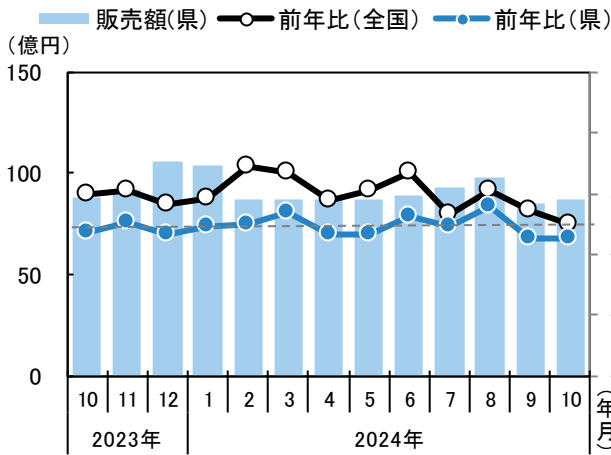
② 企業活動面では、鉱工業生産指数（9月）は前月比7.2ポイントの上昇となった。2023年10月に県内製油所の精製機能が停止し、化学工業および石油・石炭製品工業の生産指数が大幅に下降。3月には13年以降の過去最低値を更新した。その後は、やや持ち直したが、足下では一進一退の状況にある。

公共工事請負金額（10月）は、前年同月比1.5%減（減少は4か月ぶり）。4月～10月累計での請負金額は前年同期比7.9%増となっている。地域別の請負金額では、湯浅地区、橋本地区、岩出地区、和歌山市地区、串本地区など多くの地域で前年同期に比べて増加している。

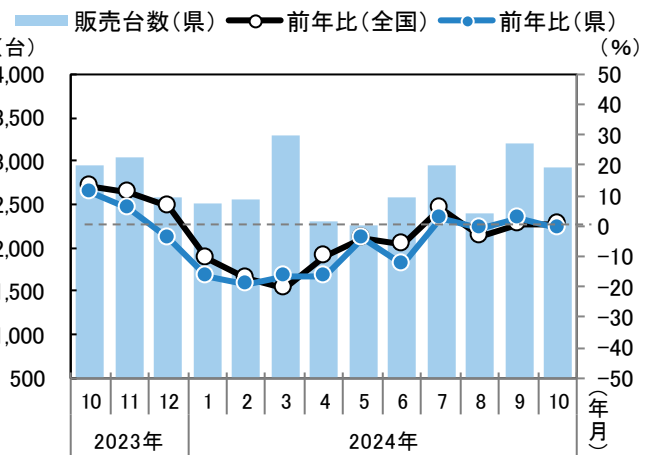
帝国データバンクが発表している県内TDB景気DI（10月）は前月から3.2ポイント上昇した。製造業、小売業を中心に業況が改善。見通しでもさらなる回復を見込む。

③雇用面については、有効求人倍率（10月）は、前月から0.02ポイント下降し、1.10倍となった（下降は2か月連続）。有効求職者数が増加する一方で、有効求人数が2か月連続で減少した。和歌山労働局は「緩やかに持ち直しの動きがみられるが、求人の一部に足踏み感がある」との判断を維持しており、「物価上昇等が雇用に与える影響に注意する必要がある」と指摘している。

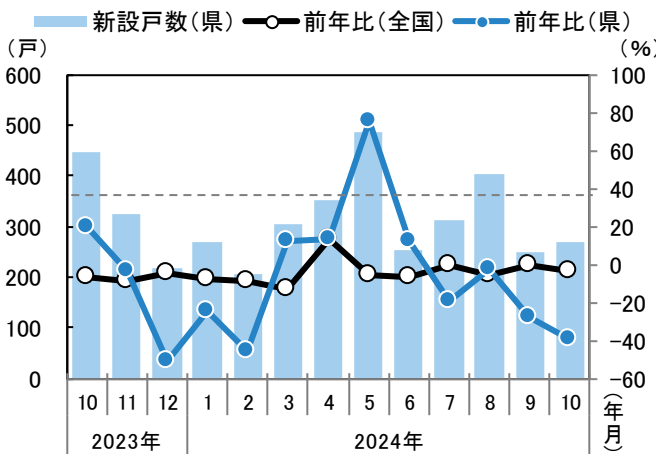
百貨店・スーパー販売額



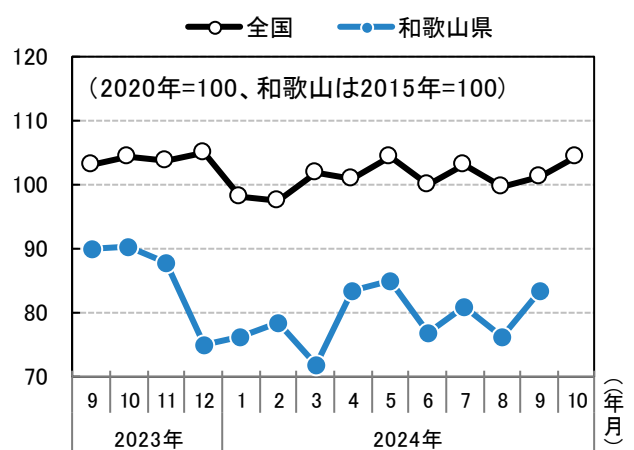
新車(登録車+軽自動車)販売台数



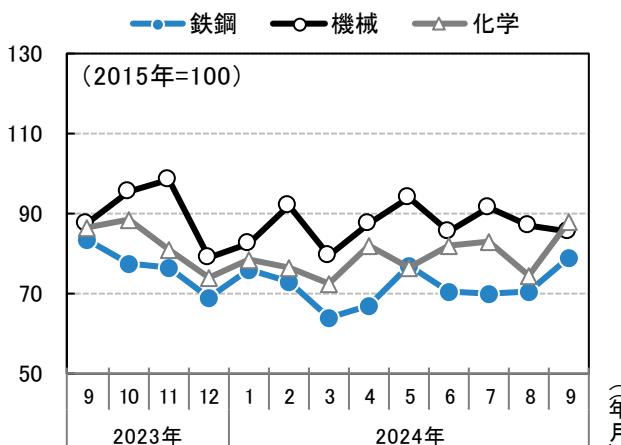
新設住宅着工戸数



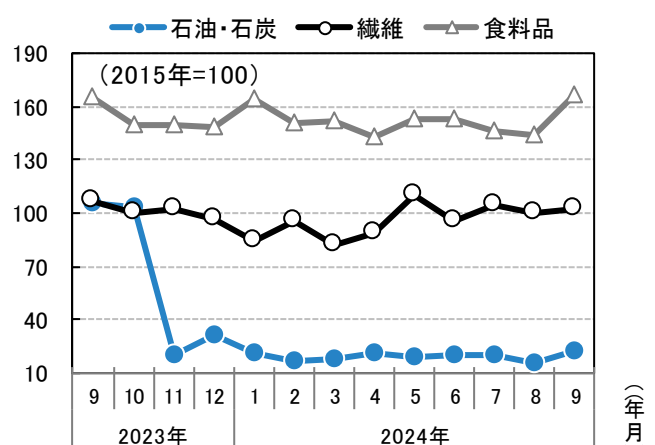
鉱工業生産指数



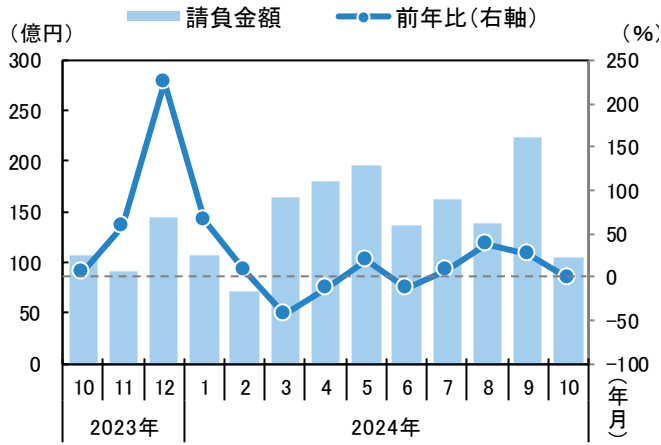
鉱工業生産指数(和歌山県)



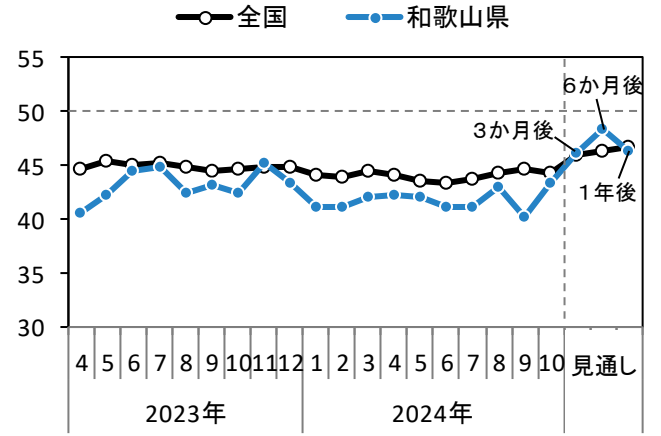
鉱工業生産指数(和歌山県)



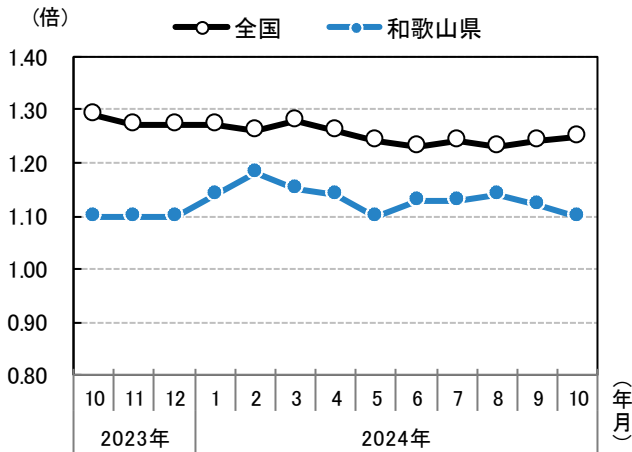
公共工事請負金額(和歌山県)



TDB景気DI (判断の分れ目は50)



有効求人倍率



(資料)株式会社帝国データバンク

(1) 個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数(*登録+軽)			新設住宅着工戸数		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	販売台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)
2019年	1,188	-1.1	-1.9	38,733	-1.6	-0.6	5,188	-4.0	5.1
2020年	1,133	-5.4	-5.4	33,942	-11.6	-12.4	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	32,416	-3.3	-4.5	4,591	5.0	1.7
2022年	1,090	3.8	-0.3	30,549	-7.0	-5.8	4,758	0.4	3.6
2023年	1,106	4.6	1.5	20,583	18.4	19.0	3,958	-4.6	-16.8
2023年9月	87.2	4.8	2.6	3,133	11.9	8.1	346	-6.8	-34.8
10月	88.5	4.0	-1.0	2,941	13.0	11.1	446	-6.3	19.9
11月	92.3	4.4	0.2	3,051	11.2	6.0	325	-8.5	-3.8
12月	106.2	2.6	-1.5	2,589	6.6	-4.0	218	-4.0	-50.9
2024年1月	104.1	3.3	-0.2	2,510	-10.9	-16.3	269	-7.5	-24.0
2月	86.7	7.6	0.0	2,566	-17.2	-19.4	205	-8.2	-45.8
3月	87.2	6.9	1.5	3,283	-20.5	-16.7	305	-12.8	12.5
4月	87.2	3.0	-1.3	2,301	-10.1	-16.4	354	13.9	13.5
5月	87.1	4.4	-1.5	2,256	-4.2	-4.0	488	-5.3	75.5
6月	89.4	6.9	1.1	2,590	-6.2	-12.9	253	-6.7	12.4
7月	93.0	1.3	-0.4	2,940	5.6	2.6	314	-0.2	-19.5
8月	98.3	4.5	2.3	2,390	-3.6	-0.8	404	-5.1	-2.7
9月	85.5	1.8	-2.0	3,210	0.6	2.5	249	-0.6	-28.0
10月	86.9	0.0	-1.8	2,915	0.7	-0.9	269	-2.9	-39.7

(2024年12月6日に取得可能な資料より作成)

(2) 企業活動面

	鉱工業生産指数(2015年=100) *全国は2020年=100								公共工事請負額		TDB 景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)	
2019年	111.6	102.7	110.3	100.8	100.5	95.4	106.6	138.0	1,585.1	6.6	
2020年	100.0	88.9	81.3	85.0	92.6	76.5	105.0	119.5	1,847.2	16.5	
2021年	105.4	88.4	78.1	89.9	85.6	68.6	101.8	139.8	1,806.3	-2.2	
2022年	105.3	97.2	83.9	98.2	95.8	110.6	104.6	142.8	1,584.1	-12.3	
2023年	103.9	89.8	78.3	92.0	91.2	86.8	104.0	139.4	1,711.6	8.0	
2023年9月	103.2	89.9	83.6	87.6	86.3	105.3	106.4	164.8	176.8	6.5	43.1
10月	104.4	90.3	77.4	95.6	88.6	103.8	100.6	149.7	106.5	5.9	42.4
11月	103.8	87.7	76.5	98.4	80.7	20.6	102.3	149.6	92.3	57.7	45.2
12月	105.0	75.0	68.7	78.8	73.8	31.5	96.9	148.5	143.9	225.0	43.3
2024年1月	98.0	76.3	75.9	82.2	78.5	21.5	83.9	164.4	107.7	65.4	41.1
2月	97.4	78.4	73.0	91.9	76.4	17.1	95.1	150.5	71.5	8.8	41.1
3月	101.7	71.7	64.1	79.5	72.4	18.0	81.6	151.3	164.9	-42.2	42.0
4月	100.8	83.5	66.8	87.2	82.1	21.0	88.7	142.4	180.4	-12.3	42.2
5月	104.4	85.0	76.7	94.1	76.4	19.1	110.0	152.7	196.1	20.3	42.1
6月	100.0	76.9	70.5	85.6	82.0	19.9	95.5	153.2	135.9	-12.5	41.2
7月	103.1	80.9	69.9	91.3	82.9	20.1	104.7	146.3	163.4	8.6	41.1
8月	99.7	76.2	70.5	86.9	74.5	15.2	100.5	144.2	139.5	37.2	43.0
9月	101.3	83.4	78.9	85.4	87.9	22.1	102.8	166.0	223.2	26.2	40.2
10月	104.3								104.9	-1.5	43.4

(注)鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2024年12月6日に取得可能な資料より作成)

(3) 雇用面

	有効求人倍率		有効 求人数 (人)	有効 求職者数 (人)	充足率	
	全国 (倍)	和歌山県 (倍)			パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2019年	1.60	1.41	17,920	12,699	17.6	17.1
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,876	15.2	18.2
2022年	1.28	1.15	16,977	14,777	14.8	16.8
2023年	1.31	1.13	16,340	14,409	14.7	18.2
2023年9月	1.29	1.12	16,315	14,597	15.4	17.0
10月	1.29	1.10	16,194	14,675	14.8	16.2
11月	1.27	1.10	16,123	14,712	14.9	50.9
12月	1.27	1.10	16,330	14,813	13.0	15.4
2024年1月	1.27	1.14	16,600	14,609	10.8	11.8
2月	1.26	1.18	17,285	14,689	14.1	18.3
3月	1.28	1.15	16,661	14,544	17.1	24.2
4月	1.26	1.14	16,393	14,375	16.5	19.3
5月	1.24	1.10	16,174	14,728	15.3	21.3
6月	1.23	1.13	16,519	14,643	14.5	17.7
7月	1.24	1.13	16,404	14,494	13.2	16.5
8月	1.23	1.14	16,473	14,387	12.6	13.7
9月	1.24	1.12	16,209	14,471	12.7	17.7
10月	1.25	1.10	16,034	14,533	14.5	16.4

(2024年12月6日に取得可能な資料より作成)

(注1)有効求人倍率、有効求人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。